

実地指導と法令遵守のためにも重要な視点を網羅！！

介護記録研修会（東京開催）

記録の知識と技術を包括的に学ぶ

記録の付け方で介護が変わる！組織が変わる！職員が変わる！
職員が一丸となって、より良いケアを実現するための

「介護記録」研修会

1. 記録の整備により、質の高いサービス提供を実現！！

『介護記録』は、利用者に質の高いサービスを提供する上で、とても重要です。職員間の情報の共有はもちろんのこと、利用者の状態や変化、実際のサービスの提供の経過等を適切に記録することは、利用者の今後の変化等を予測することにも繋がり、事故を未然に防いだり、状態変化にすぐに対応できる等、利用者に体系的なサービスを提供するためには必要不可欠です。介護従事者に改めて「記録の目的・意義・重要性」をご理解頂き、実践的な記録の知識と技術を習得することを目的に本研修会を企画いたしました。

2. 介護記録は介護の証であり、介護業務のバトンです。

『介護記録』は利用者や介護の姿が思い浮かぶものにするのが望まれます。適切な記録は、日々の介護業務に『気づき』を与え、利用者、職員、事業所を守り、職員間・事業所間の連携がスムーズになることも期待されます。記録の不備により、生命に危機をもたらすこともあり、必要な記録を残す技術が求められます。

事業所によっては良く『特変なし』と記載されることがありますが、利用者の変化に気づけない状況であることを表しているのかもしれない。

3. 「法令遵守」に対応する記録ですか。

法令遵守を基本とした、記録に関する知識も持っていなければ、適切な記録とはいえません。特に記録に関しては、改ざんや不適切な記録方法がないように、記録を整備する必要があります。

4. この機会に「介護記録」の基本を総点検してください。

記録作成の際に、必要なポイントについて事例や演習を通して学びます。介護従事者の「記録」の技術と知識を点検するために、本研修をお役立てください。

平成 28 年 9 月 20 日開催 東京会場 介護従事者対象

研修内容 9：30～16：30

I. 介護記録の目的と重要性（座学）

II. 介護記録の課題と整備（座学）

- ①記録の知識と技術
- ②記録の確認のポイント（事例を交えて）
- ③分かりやすく正確な記録の基本視点
- ④書式の改訂の基本知識

III. 介護記録の書き方（個別演習）

- ①介護記録の実践
- ②介護記録の確認

介護場面の映像を基に実際に記録を書いて確認します

※下記の内容を確認してみてください。

活動内容が見える記録ですか？

- ・6W1Hや主語、述語を書いていますか？
- ・記録者・日時を記録していますか？
- ・変化・状況がよく分る記録ですか？

本人の状況を把握できる記録ですか？

- ・『特変なし』など記載していませんか？
- ・本人・家族の意向を分けていますか？

情報共有できる記録ですか？

- ・誰でも分かりやすい文章ですか？
- ・事実と推測を分けて記録していますか？
- ・略語等は統一されていますか？
- ・記号等の解釈は標準化していますか？

対外的な記録の整備は大丈夫ですか？

- ・利用者に見せることができますか？
- ・記録の訂正の仕方は適切ですか？
- ・過去形・未来形・現在形を使い分けていますか？

組織としての記録の取り組みは？

- ・無駄な記録に職員は疲れてませんか？
- ・書式の改善を行っていますか？
- ・記録の指導者は育っていますか？

受講料金：9,300円

講師：石橋 亮一先生

会場：お茶の水ケアサービス学院
東京都千代田区岩本町 1-10-3
JR 神田徒歩 10分

問合せ先：お茶の水ケアサービス学院

TEL 03-3863-4000

FAX 03-3863-4006

受講対象：どなたでも参加可能です。

申込書【03-3863-4006】

氏名	
住所	〒 - (事業所・自宅)
事業所	
TEL	
FAX	
職種	

※お申込後、7日以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかりますのでご注意ください。
尚、9/6より全額のキャンセル料が発生します。

※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。